

留学だより③



ナマステー！ AFS71 期としてインドのパンジャブ州に留学中の小石川 16 期の井之前です。

先月はインドのお祭りが多すぎて書ききれませんでした！

1 Raksha Bhandan について 2. Happy Janmashtami !

3, 日本のカレー食べてもらう！ 4, 映画を見に行く

今回は 4 本立てでお送りします！

1 <Raksha Bhandan について>

今年の Raksha Bhandan は 8/19 に行われました。Raksha Bhandan とは姉妹から兄弟に Rakhi というブレスレットのようなものを右手首に結び、兄弟から姉妹にプレゼントを渡すことで兄弟姉妹の絆を深め、Rakhi によって相手を守護するという目的があります。そのほかにもティッカという眉間に赤い粉とお米をつける儀式も行います。血縁関係がなくても大切な人だったら OK で割と自由です。

私のホストファミリーは母方の親戚が全員集まり、Rakhi とプレゼントを交換してケーキなどを食べました。親戚は 20 人ほどいて、なかなか全員で集まることがむずかしいので、Raksha Bhandan で久しぶりの再会というような感じでした。親戚は年齢層高めで、新しく子どもが増えたというような感じ。たくさんお皿にご飯をもりもり盛ってくれて子どもを大切にしている国民性を感じました。そして、親戚の集まりのあとは部活があったのですが、みんなの右手首にたくさんの Rakhi がついていてインドでは欠かせないお祭りなんだとわかります。



左) 食事。さらにこの三倍ぐらい盛られる。

中央) Rakhi。ちょうちょ結びしてつける。

右) 親戚女性陣 12 人

豆知識

ティラカ (ティッカ) とビンディの違いわかる?? ということで、皆さんも一度はどこかで見たことがあるだろう眉間の間の赤い点。あれ実は深い理由があるんです。

・ティラカ

ティラカは神聖な儀式であり、女性は点、男性は縦の線の形に赤い粉をつけてもらい、そのあとにお米を眉間にプレスしてくっつけるというのがルール。Raksha Bhandan ではホストシスターにやってもらい、最後はスイーツをひとかじりするのまでがセット。

・ビンディ

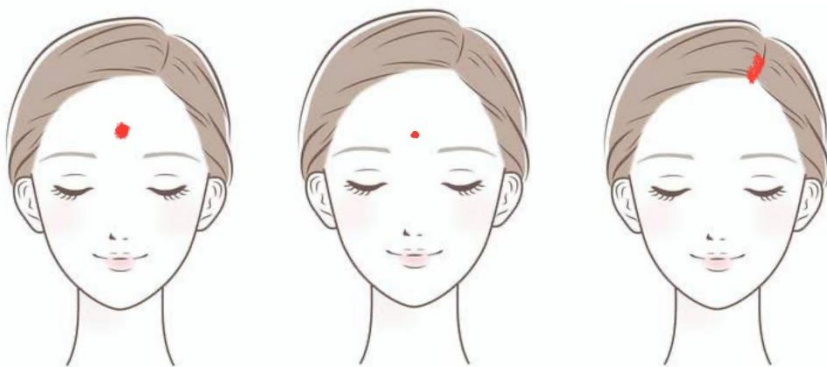
現代では粉ではなくシールを貼る場合が多いです。しかも、赤だけではなく青や黒、ピンクなどとてもカラーが豊富で色によって意味が違うんだとか。

もともとビンディはサンスクリット語で「点、滴」という意味があり、第三の目や知恵の中心の象徴とされています。

ビンディは既婚女性がつけることが多いそうだけれど、今はファッションとしてつける人もいるという。ホストマザーは来ている服の色に合わせてビンディの色を変えていてとってもおしゃれです。

・シンドゥール

私の住む地域はパンジャブ州とって北インドに位置するのですが、北インドで多いのがこのシンドゥール。髪の毛の分け目に赤い粉をつけるのが特徴です。ビンディと同様に夫の長寿を願うなどという意味も込められています。学校の先生の中にはビンディもシンドゥールもつけている先生もいます。



左) ティッカ

中央) ビンディ

2 <Happy Janmashtami!>

Happy Janmashtami! この意味が分かる人はほぼいないはず。8/26はラクシュミーのお誕生日。誕生を祝ってインド全体が祝日になります。インドは州によって祝日が異なるので全体で祝日になるのはかなり少ないです。この日は家族と一緒に近くのお寺まで行きました。

お寺に入るとすぐに大音量の音楽とずっと音楽に合わせて踊っている人たち。いつまで踊っているのだろうと思いつつお供え物をします。お供え物はだいたい果物やお菓子です。お供え物をラクシュミーの座るブランコにワンタッチすると係の人が後ろにバンバン投げていくというスタイル。それでいいんかと思わず突っ込みたくなる。そして神様の座るブランコにつながっているひもを引っ張ると参拝が完了するというシステムです。ごいはやさで参拝しました。

参拝をした後はラクシュミーの洋服を買いに行きました。小さいハムスターみたいな洋服がずらりと並んでいます。大体一着150円程度です。安いですが、柄もかわいくてラクシュミーの着せ替えコレクションを作りたいくなるほど。ラクシュミーのためのピアスや、アクセサリなどもあって、小さいフォルムがシルバニアファミリーを思い起こさせます。インド全開のお祭りを経験できて楽しかったです。学校の美術の時間にはラクシュミーの絵を描くという宿題もあって、宿題にまでなってしまう神様すごいと思いました。



左) 宿題のラクシュミーの絵。かなり苦戦中

3 <日本のカレーを食べてもらおう!!>

インドへの質問コーナーで日本のカレーとインドのカレーを食べ比べしてほしいという意見があったので、カレーを作ってみました！カレーのルーは日本から持参していたものです。カレーを作るのは校外学習のマザー牧場ぶりだったのですが、コックさん二人による全力での協力体制があったので順調に進みました。途中でルーのパッケージに書いてあるスパイスを全部持ってきてくれたときは、さすがにインドに感動しましたよね。

そしていよいよ味見！！するととんでもなくしょっぱい。コックさんにバレないように水を注ぎ足して、最終的にはトロトロではなくサラサラのカレーライスになりました。まだまだ修行が必要のようですが、コックさんと家族全員にGOODをもらったので、日本のカレーライスもインドに認められたということで、ひとまずうれしいです。また、私はトビタテ！留学 JAPAN の活動の中で日本の魅力を伝える活動も必要なので、いつか学校で日本食を作ったり、イベントを開催したいなと思います。



そして、食べ比べて思ったことは、インドのカレーは「飲み物」だということです。日本のカレーはドロドロしているのはもちろん具材もけっこうゴロゴロと大きいですよね。でもインドは豆中心なのでサラサラとしていて歯を使わなくても食べられます。私のホストファミリーがベジタリアンだったり、地域の特徴だったりということもありますが、何種類ものスパイスで味付けされているカレーは1杯だけでもものすごく満足感が大きいです。

インドのカレーは種類が多すぎていくら「飲んでも」飽きないので、留学2か月目にして「カレーの沼」から抜け出せなくなりそうです。来月はコックさんに弟子入りして、私の一番好きな Yellow Daal（ひよこ豆のカレー）を作れるようになりたいななんて思っています。

4 <映画を見に行く>

カレーを作ったあと、急に「ホストファミリーに映画に行くよ!」と言われて、観ることになったのは”Stree”というホラー映画。ホストシスターは大のホラー映画好きで、食事の時には必ず Netflix でホラー映画を観ます。でも一人でホラー映画を観られないので、必ず私もお供しなければならず、毎日心臓バクバクです。今回観ることになった映画は、聞くところによると字幕なし&ヒンディー語、そしてシーズン2だそうで、さすがに笑いがこらえきれない。

そして映画館に到着するとポップコーンとナチョスを購入。席に座ると店員さんが持ってきてくれる仕組みでとても楽ですが、映画が始まっているのに大きな声で「ポップコーンとナチョスです!!」と運んでくれるという元気いっぱいなサービス付き。日本では、ポップコーンとジュースで1000円以上するので、学生には厳しいお値段ですが、インドだとバケツサイズのポップコーンとナチョスで600円ほどで大満足でした。

海外の映画館あるあるでおなじみの上映中のリアクションの大きさや会話の音量が大きすぎるなどなど。わりと身構えて見始めるとみんなスマホで撮影し始めて、さすがにそれもアリなのかよと驚きが隠し切れませんでした。映画泥棒もびっくりですよ。そしてインド映画あるあるでもおなじみなのがダンス。ちゃーんとホラー映画でも Dancing していました。思わずホラー映画ということを忘れてしまうくらい華やかで、本当にツッコミどころしかありません。

映画は3時間越えで見ごたえたっぷりなので途中でトイレ休憩をはさみます。本当に日本と違いすぎる映画館で楽しかったです。皆さんもぜひ行ってみてください。